

オーエスの電動大型スクリーン EB、EC、SEL は日々改良を重ね より安全に、快適にお使い頂けます。

EB・EC・SEL はオーエスを代表する電動大型スクリーンです。オーエスの歴史と共に歩み、改良を重ねてきました。また SEL はお客様のご要望から生まれたスクリーンです。大型スクリーンはその使われ方からも特に「安全性」「耐久性」などが要求されるスクリーンです。



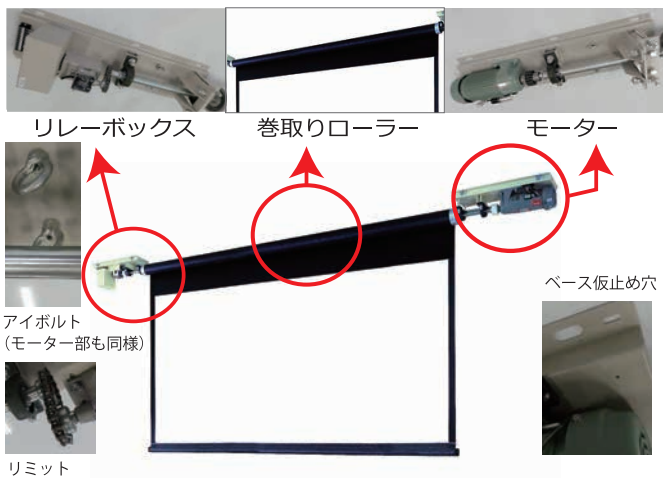
2017年6月19日発行
お客様へのお役立ち情報、**NO.12**
トピック等をお知らせする
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

電動大型スクリーン上巻き

EB

入力電圧：100V、操作回路：100V（24V 対応可能）

EB は「巻取りローラー」「モーター」「リレーボックス」がセパレートされ、搬入時や取付時の負担が軽減されます。



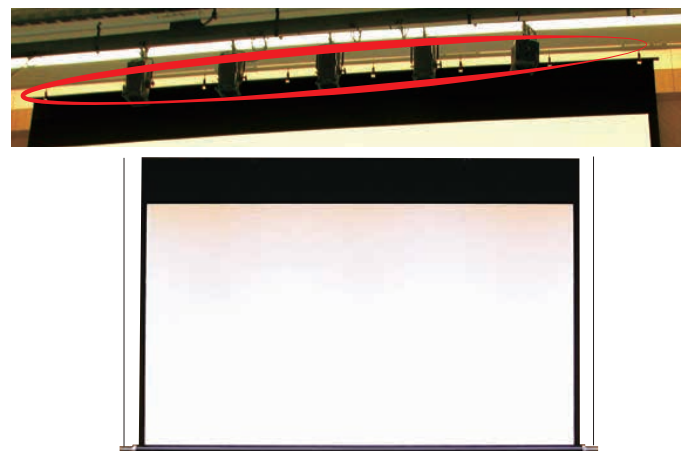
- 製造可能寸法：NTSC タイプ 200V ~ 350V
HD タイプ 200H ~ 350H
※仕上がり最大 W8000×H6000mm (特注)
- 様々な条件に適合
 - ・モーターとリレーボックス取付け後、巻取りローラーを設置・固定、比較的楽な取り付けができます。
 - ・モーターは上置きも可能です。設置幅を短くでき、下からの見た目も良くなります。
 - ・異常時に回路を直接遮断する B 接点を採用しています。
 - ・ベースにアイボルトを装備、吊込み時、治具として滑車使用が可能です。
 - ・ベース位置調整が楽な長穴のベース仮止め穴。
 - ・スプロケットの干涉摩擦を防ぐ偏芯式リミットスイッチ。

電動大型スクリーン下巻き

EC

入力電圧：200V、操作回路：24V

EC の大きな特長は、上パイプへの巻取りがない為に上部から多点吊りが可能になり、特に優れた平面性が確保できる事です。



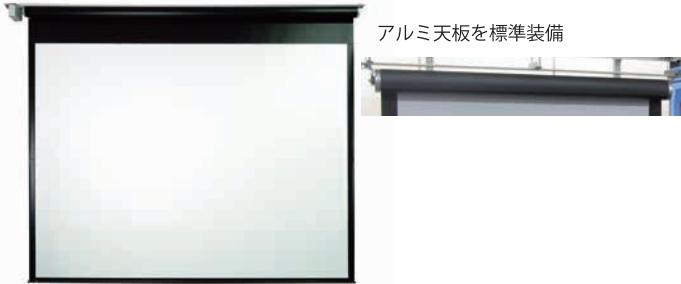
- 製造可能寸法：NTSC タイプ 300V ~ 450V
HD タイプ 300H ~ 450H
※仕上がり最大 W12000×H7800mm (特注)
- 安全対策
 - ・キンクや素線切断の発生しにくいようドラム径とワイヤー径の適合を図っています。
 - ・変形に強いステンレスワイヤーを採用しています。
 - ・スクリーン吊金具に全ねじボルトを採用し、微調整を可能としています。
 - ・DC24V の低電圧設計です。
 - ・巻き込み防止安全装置として、制御盤に過負荷防止回路（ショックリレー）をオプションで用意しています。

電動スクリーン上巻き

SEL

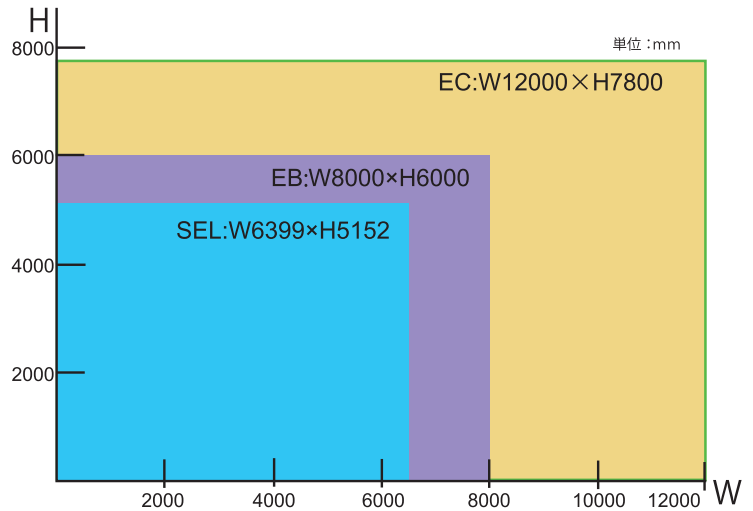
入力電圧：100V、操作回路：100V（24V 対応可能）

SEL はモーターがパイプ内に収まった、インモータータイプの大型スクリーンです。

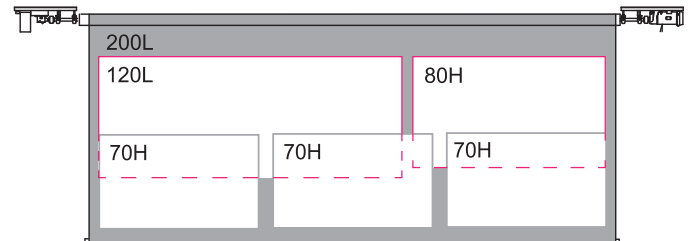


- 製造可能寸法：NTSC タイプ 220V ~ 300V
HD タイプ 220H ~ 270H
※仕上がり最大 W6399×H5152mm(特注)
- 2015 年誕生の新しい大型スクリーン
 - ・上限リミット機能付きモーターを巻取りローラー内に設置したため、凸部の少ないシンプル構造です。
 - ・インモーターのため、取付間口が狭い場所にも対応できます。
 - ・大型巻取りローラー採用で平面性も高くなりました。
 - ・押しボタン式リミットスイッチを採用しました。
 - ・スラブ、ぶどう棚に設置可能としたアルミ天板を標準装備しました。

電動大型スクリーンの最大制作寸法比較



大型スクリーンのマルチ投写



大型スクリーンは、同一スクリーン上に異なるアスペクトを投写したり、動画と静止画を同時に投写する等の大型スクリーンならではの使い方が可能です。

安全のために電動大型スクリーンはリモコン操作も可能ですが、目視しながら昇降するのが原則です。スクリーンの見える位置での壁スイッチ設置をお勧めします。

●サイズは規格品以外に特注対応が可能です。生地によりサイズに制限があります。●マスク無しや巻取り逆巻きなどのご要望にも対応いたします。ご相談ください。

生産現場では私の話しを理解し、相談相手になってくれる人に出会えたことで、入社以来私がぶつかってきたさまざまな出来事を往復の車中で話合えました。

大沢商会で学んだこと、ものづくりに関すること、そして販社（オーエス）の人たちとは違う打算のない生産現場の方々の一生涯懸命に仕事に取り組む姿勢や考え方などについて話しているうちにあつという間に時間が経過し、帰宅時にも自宅前に到着した車中で長時間話したこともありました。

その中で自分自身の考え方に問題があることにも気付かされましたし、知らないことも多くあり、教わることもたくさんありました。

今振り返ると私がその時考えて話していた内容の根本は、「どうすれば良くなるのだろうか」、「大沢商会のような会社になるにはどうすればよいのだろうか」ということでした。

このような往復の車中講座の日々の中、日中は現場研修で実社会にでたら営業しか知らない私にとって、現場経験は全く別世界でたいへん興味深く勉強にもなりませんでした。

生産現場には、中学生時代に父親に頼まれて繁忙期（2月～3月）の間、アルバイトに来ていた経験がありましたが、それ以来の経験でした。

そして、好奇心旺盛な私にとって、全く違う視点で物事が見え、多くの気付きもあり新鮮で、大変居心地の良い場所になったのです。

この研修中の現場では今までの価値観とは全く違う人たちの出会いもありました。

そのような出会いは、いままで自分自身の価値観を他人に押し付けようとしていた自身に気付かされました。

また、商品を販売することしか経験してこなかった私がこの研修でものづくりの仕組みを勉強できたのも後々の会社運営にいかされていくことになりました。

大沢商会での経験とこの生産現場での経験がもとで、これから当社に必要なことややらねばならないことがいろいろと前向きに考えられるきっかけになったのです。

この時の一番の気付きは、製造業は大別して2つあり、1つは部品を生産するメーカー、もう1つは完成品を生産するメーカーであるということです。オーエスは後者の完成品メーカーでこれが大変な強みであることでした。これから数年のうちに、この強みを当社がいかに出すことができる制度改正が日本社会に起こることになるのです。

(続く)

乾坤一擲

012

代表
奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。